

センシング技術を活用し、さりげなく日常生活の中で健康状態がわかる「日常人間ドック」、パーソナルデータエコシステムの活用など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市を創造。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。

目標

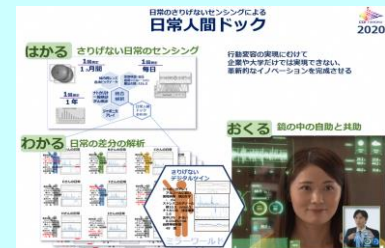
- 健康長寿社会の実現
→平均自立期間
- あらかファンの拡大
→荒尾市への転入者数、あらかファン（ふるさと会員数等）の人数
- 暮らしやすいまちの基盤構築
→荒尾が暮らしやすいと感じている市民の割合

取組概要

さりげないセンシングと日常人間ドック「血流動態センサ」や、映った人の体調がわかる「魔法の鏡」などのデバイスをまちに埋め込み、日々の体調変化をAI解析し、結果を共有することで、市民・来訪者の健康増進が図れるシステムを構築。



血流動態センサ(イメージ) 魔法の鏡(イメージ)



協力：COI東北拠点/東北大学

パーソナルデータエコシステム

パーソナルデータを集中管理ではなく、各個人に集約分散管理するPLR(Personal Life Repository)の仕組みにより管理し、行政サービスの質向上等へ活用。



協力：東京大学 大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター

エネルギーの地産地消×自治体MaaS

電力の地産地消にあわせモビリティ（タクシー、キックボード、ゴミ収集車等）をEV・電動化するとともに、MaaSにより移動・輸送を最適化。



リビングラボ

コロナを踏まえた新しいスマートシティ機能を、南新地地区に埋め込み、リビングラボとして運営。



体制

あらかスマートシティ推進協議会

- | | |
|---------------|------------|
| <正会員> | <アドバイザー会員> |
| 荒尾市 | 東京大学 |
| JTB総合研究所 | COI東北拠点 |
| 三井物産 | (東北大学) |
| 有明エナジー | <サポート会員> |
| グローバルエンジニアリング | ITID |
| UR都市機構 | |

エリアマネジメント
検討協議会(仮)

南新地地区
ウェルネス拠点
開発事業

地域の組織/団体
・商会議所
・医師会
・金融機関 等

将来像

荒尾市で今後想定される問題

人口のさらなる減少によって…
雇用の低下 産業の担い手不足
地域経済衰退 医療費の高騰
子育て環境悪化 交通機能低下
空き家増加 …

取り組む課題（重点戦略）

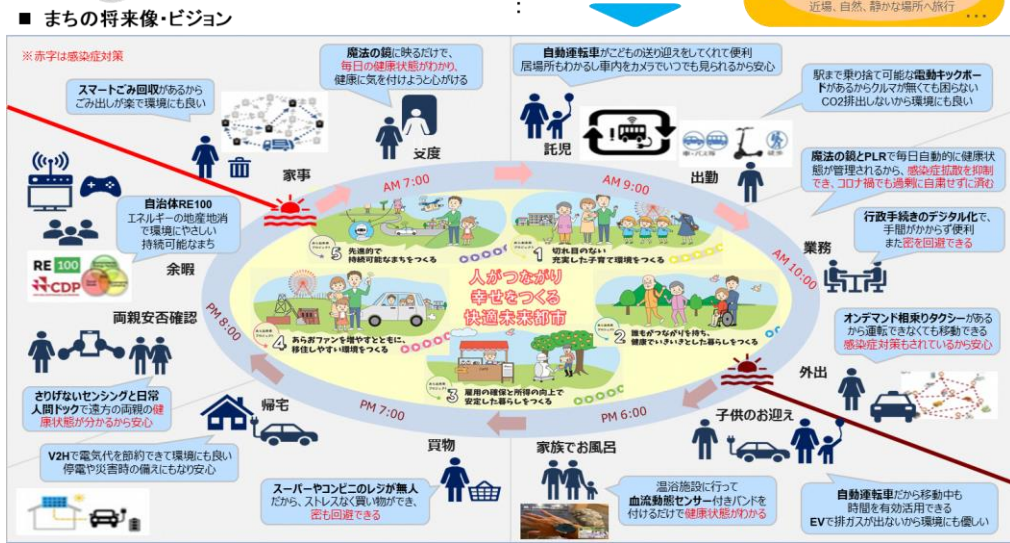
1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
3. 誰もががなげを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
4. あらかファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続的なまちをつくる

重点施策

南新地ウェルネス拠点開発
(親馬場跡地の再開発事業)
+
スマートシティ事業
(ヘルスケア+エネルギー+モビリティ+α)

ニューノーマル時代への適応

生活 健康意識、衛生意識、働き方
イデカ充実志向、節約志向、オンライン会議
非三密、アウトドア活動増、リモートワーク使い分け
家族第一志向、ワーケーション浸透、ワークライフバランス
好きな地に居住
消費 現金からキャッシュレスへ
テイクアウト・デリバリーのみならずの発注
近場、自然、静かな場所へ旅行



スケジュール

2020年実装

- ・自立的なエネルギーシステム
- ・オンデマンド相乗りタクシー

2022年以降順次実装

- ・さりげないセンシングによる日常人間ドック
- ・パーソナルデータエコシステム
- ・行政手続きのデジタル化